

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

求職者数が2割増加

ハローワーク水戸との懇談から



23日、ハローワーク水戸会議室にて

1月23日、大内久美子党県議、水戸、大洗党市町議らとともに、求人・求職の動向などについて、ハローワーク水戸・小林利男所長との懇談に参加しました。

求職者数の動きについて、小林所長は「昨年12月から変化が生じた」と指摘し、

「12月は12.4%増(対前年同月比)、1月は20%増(同)で、特に、機械工業部門の求人数が落ち込んでいる」と説明しました。

今春卒業する高校生の就職内定率については、

「71.1%で前年の74.1%から3ポイント低下している。ここ数年右肩上がりだったことを考えると、懸念している」と語りました。

「管内で30人以上の大量解雇を届けた事業所はあったのか」との問いには、

「1ヶ台(10未満の事業所)の事業所から報告があった」と述べました。

この日、次々訪れる相談者の様子から、駐車場が不足しているのではないかと、また窓口での相談体制の充実も必要なのではないかと、などを求めて懇談は終わりました。

那珂川沿岸水利事業の計画変更

関係市町村党議員らが聞きとり

2月5日、大内久美子党県会議員および那珂川沿岸水利事業関係8市町村党議員は、関東農政局那珂川沿岸水利事業所と、県合同庁舎内の「県営かんがい排水事業那珂川沿岸地区と那珂川沿岸土地改良区」を訪れ、事業計画の変更を中心とする現況と今後の見通しについて説明を受けました。

変更の概要は、1. 施行地域の変更・・・現在5,544haのところ、8,617haに拡大。内容は、東海・ひたちなか・大洗で畑地の見直しが行われた一方、那珂川から直接取水している6土地改良区が編入。2. 工事計画の変更・・・新設予定だった2機場は中止し、現存する6つの機場の改修と、6土地改良区編入路線改修。

3. 総事業費の変更・・・当初495億円、現在603億円、今後782億円へと増額。ダム工事と6土地改良区編入

等事業変更の影響が大きい。工事完成をH30年(かんがい排水はH35)に予定。

議員らは、「6土地編入はなぜか。新たにダムを建設する必然性はなにか。那珂川や地下水の利用で十分なのではないか。10年後の農業情勢をどう見ているのか」など、質問しました。



5日、関東農政局那珂川沿岸水利事業所にて